

アルミ水素PR 国際展示会参加

来月アルハイテック

廃アルミから生成する「アルミ水素」の普及を進める環境ベンチャー、アルハイテック（高岡市オフィスパーク、水木伸明社長）は、10月2～5日にアラブ首長国連邦（UAE）で開かれるエネルギー産業の国際展示会「ADIPEC2023」に参加する。

ADIPECは1984年から開催されている石油・ガス業界で世界最大級の展示会・会議。30カ国がパ

ビリオンを設置し、2200以上の企業がエネルギーの未来を定義する最新の戦略やイノベーションを紹介する。アルハイテックは日本政府のパビリオンに出展する8社に選ばれ、アルミ水素製造装置の模型を展示するほか、英語で会社を案内する映像を放映し、社員がPRする。

水木社長は製造サイクル全体に関する最新の技術革新を紹介する会議で「ハイアルミニウムの新たなケミカルリサイクル技術による『グリーン社会』の創造への挑戦」をテーマに講演する。